

## 一 入末法四弘誓願の事

仰せに云はく、四弘誓願をば一文に口伝せり。其の一文とは所謂神力品に云はく「於我滅度後おうじゆじしきょう心受持斯經、是人於けつじょうむうぎ仏道決定無有疑」と。此の經文は法華經の序品より始めて四弘誓願の法門を説き終はりて、さて上行菩薩に妙法蓮華經を付嘱し玉ふ時、妙法の五字に四弘誓願を結びて結句に説かせ玉へり。滅後とは末法の初めの五百年なり。衆生無邊誓願度とは是人の人の字なり。誓願は地涌本化じゆほんげの上行菩薩の誓願に入らんと、此即ち仏道の二字、度脱なり。煩惱無邊なれども煩惱即菩提・生死即涅槃たいだつと体達す。仏道に入りては煩惱更に無し。受持斯經しきょうの所には法門無尽誓願智ほうもんむじんせいがんち分明なり。無上菩提誓願証むじょうぼだいせいがんしょうと云ふは是人於仏道決定無有疑と定めたる四弘誓願分明なり。教主釈尊の末法に入つての四弘誓願も此の文なり。上行菩薩の四弘誓願も此の文なり。深く之を思案すべし云。